

北斗 みらい 未来展望

Hokuto
Future
Prospects

★広報誌★ 2023.01 ほくと7 VOL. セブン 109 新年特別号

友だち募集中!



友だち追加はこちら!



30 ANNIVERSARY
1993 - 2023



社会医療法人
Social medical corporation

北斗

地域と共に30年

2023年1月18日、
社会医療法人北斗は30周年を迎えます。
これまで支えていただいた地域の皆さま、
関わっていただいたすべての皆さまに感謝申し上げます。
これからも皆さまの頼れる存在になるよう努力し続けます。



1993年開設当時

沿革 1993(平成5)年-2022(令和4)年

| | | | |
|----------------------|--|------------------|---|
| 1993年 (平成5年) | ●北斗病院開設 病床数合計 155床／職員数 182名 | (平成28年) | 病床数合計 972床／職員数 1,538名 |
| 1995年 (平成7年) | ●北斗病院 機能回復センター カイラス開設 病床数合計 252床／職員数 289名 | 2017年 (平成29年) | ●十勝自立支援センター介護老人保健施設 かけはし開設 ●介護付有料老人ホーム ノーステラス緑ヶ丘開設 ●介護付有料老人ホーム ノーステラス札内西町開設 病床数合計 1,255床／職員数 1,755名 |
| 2001年 (平成13年) | ●とちかち病院承継 病床数合計 374床／職員数 457名 | 2018年 (平成30年) | ●ほくと自立支援ホーム開設 ●HOKUTOリハビリテーションセンター開設(海外) 病床数合計 1,261床／職員数 1,811名 |
| 2003年 (平成15年) | ●北斗病院新館病棟／PETセンター開設 病床数合計 454床／職員数 509名 | 2019年 (令和元年) | ●ほくと鍼灸院開設 ●北斗福祉村ガーデン星の庭オープン ●広尾町国民健康保険病院 地方独立行政法人化(48床) 病床数合計 1,309床／職員数 1,921名 |
| 2005年 (平成17年) | ●北斗クリニック開設 病床数合計 454床／職員数 533名 | 2021年 (令和3年) | ●認知症対応型共同生活介護 グループホームあおぞら開設 病床数合計 1,327床／職員数 1,941名 |
| 2009年 (平成21年) | ●社会医療法人認可 ●十勝恵愛会病院承継 病床数合計 525床／職員数 727名 | 2022年 (令和4年) | ●介護付有料老人ホーム ノーステラス環状東開設 ※11月現在 |
| 2013年 (平成25年) | ●十勝リハビリテーションセンター開設 ●HOKUTO画像診断センター開設(海外) 病床数合計 525床／職員数 895名 | 2023年 (令和5年) | ●医療法人 熊谷総合病院承継(310床) ※3月予定 |
| 2015年 (平成27年) | ●サービス付き高齢者住宅あやとり開設 ●新得クリニック開設 ●上士幌クリニック／ 介護老人保健施設かみしほろ開設 病床数合計 662床／職員数 1,035名 | | |
| 2016年 | ●医療法人 熊谷総合病院承継(310床) | | |



北斗の Mission・Vision

生命の地図と 北斗の Mission・Vision

1990年、この年は社会医療法人 北斗が帯広において医療活動を開始する3年前に相当します。米国のエネルギー省、厚生省が立ち上げたプロジェクトが開始された年でもありました。

それは、5000億円を注ぎ込み、15年間で「Map of Life（生命の地図）」を解明かすという、多分に挑戦的なプロジェクトでもありました。そしてこのプロジェクトは「Human Genome Project」とも呼称され、予定より2年早く終了していましたが、およそ2万3000のゲノムの Coding を解読し終えたのが2003年4月14日でした。この場に参画していた米国大統領クリントン、英国首相ブレアは

「ついに人類は『生命の地図』を手にすることができた。」

と全世界に向けて高らかに宣言しました。

この宣言の後、2016年にオバマ大統領が提唱する「Precision Medicine」に向け Academia は一斉に動き出し、数多くの多様なプロジェクトが構築されて行きました。私たち法人の Mission・Vision を下支えるものとしても息衝いているのです。

現在構想している様々な事業はこのコンセプトの下

支えを抜きに構築することはできません。

様々なプロジェクトが ゲート・インしている時代に

米国は昨年の2月3日、野心的政策目標として位置づけられる：実現すれば世界が変わる、そして政策課題としても捉えられるプロジェクトを「Cancer Moonshot project」と称して高く掲げました。





『今後25年の時間のなかで、
がんで亡くなる方を半分に
する』

これは2016年にオバ
マ政権が立ち上げ、当時副
大統領だったバイデン（現
米国大統領）も参画してい
た曰く付きのプロジェクト
でもあります。

高齢者比率が高まる社会
において、認知症の患者さ
んが増加してゆくことを阻
止することは簡単にはでき
ません。現在、地球規模で
5500万人、2030年
には7800万人になつて
いき、現在の米国において
も毎年3550億ドルが投
入されています。

この様に、現在は数多く
のプロジェクトがゲート・
インしている時代に突入し
たといわれています。

がん・認知症 VS 北斗

当院においては、5年前
より導入しているNGS

(Next Generation Sequencer :
次世代型遺伝子解析機) に
よるがん細胞の遺伝子解析
が膨大な価値ある情報を生
み出しています。従って、
患者さん一人一人に抗がん
剤を始めとする、多様な治
療の中から、最適な方法を
選択することも可能にし
てきています。

また、当院の加藤容崇先
生を先頭としたチームは、
マイクロ流体デバイスとナ
ノワイヤ・デバイスとをジ
ョイントし、尿中のマイク
ロRNAを収集することを
可能とし、日本では唯一、
95%を超える高精度のがん
の早期発見を可能にしてい
る存在ともいえます。

全世界で患者数5500
万人を超える認知症は、
2030年には7800万
人、2050年には1億
3900万人へと増加する
と予測されています。しか
し2022年12月7日、エ
ーザイ／バイオジェン・イ
ンクよりLecanemab（認知
症の治療薬として大きな期

待を生み出している…）の
18カ月に及ぶ臨床試験の結
果が報告され、27%の認知
症の進行を遅らせる効果が
確認されました。

当院の嶋原良仁先生により、
認知症の診療目的としては、
日本では唯一、我々の関連施設
にてのみ稼働しているMEG



社会の変容と 医療・介護制度改革、DX

世界に冠たる 〈国民皆保険制度〉の基礎

現在の〈地域医療構想〉と
〈地域包括ケアシステム〉を
両輪とする医療・介護制度改
革は、社会の変容により生み
出される医療と介護における
需要と供給、このミスマッチ
が産み落としたものと捉えら
れています。
これまでの改正は、医
療・介護費の抑制に重点を
置いたものでした。人口動

(Magneetoencephalography
…脳磁計)で認知症患者さん
の解析を行い、早期の認知
症においても適切なリハビリ
を行うことにより一定の
改善が期待できることが確
認できました。この報告は
国際的科学雑誌に掲載され、
大きな反響を創り出して
います。

態を解析すること、そして
その解析を基礎に、社会の
変容をとらえるとはどうい
うことなのかを簡単に見て
いきます。

日本史を、人口動態の推
移から大雑把に俯瞰してい
くと、江戸幕府の成立時
で1227万人、明治維新時
で3330万人、多くの戦
死者を生み出した第二次大
戦時で7199万人…この
様に総人口は近代史に入っ
てから大幅に増加してい
きました。

北斗の Mission・Vision

しかし、2010年の1億2806万人をピークに急激に減少し始め、2050年には9708万人まで減少していくことが予測されています。

終戦時の日本はほとんどの社会資源・社会インフラを喪失するまでに焼き尽くされていきました。しかし〈奇跡の復興〉は先達の熱く高い志と、数多くの偶然に恵まれた中で生み出されていくこととなりました。

この〈奇跡の復興〉の過程を人口動態の面で見ると、15〜64歳までの就業者労働人口の着実な増加が経済成長を支えていたといえます。この過程は〈人口ボーナスの時代〉と呼ばれています。

しかし日本は、1990年の〈バブルの崩壊〉を契機に〈出口のないデフレ経済〉に迷い込むこととなり、その結果、米国と一部のEU諸国を除き、中国、韓国、インドなど多くの東南アジア諸国は日本から5〜10年遅れるように就業者労働人口の減少、即ち〈人口ボーナスの時代〉へと迷い込んでいくこととなります。

世界に冠たる〈国民皆保険制度〉においては、65歳以上の高齢者を7〜8人の就業者で支えることを基礎にしているのですから、就業者労働人口は一時的に増大するものの長期的には相対的に減少に転じていく、この現実が全てを語り尽くしていると考えます。

厚生労働省は再編統合が必要な424病院を公表し、公的・公立病院の統廃合を推し進めようとしています。しかし、二次医療圏のひとつである十勝管内には19の行政組織があり、統廃合を押しとどめているかのようになっています。

情報の組織化を通じた働き方改革とDX

私たちはこの様な環境の中で、4年前に広尾町との間において地方独立行政法

人化の作業に取り掛かり、変革の大きなウネリを創り出してきています。

この際、デジタル化された医療情報を組織改革の要とする取り組みは極めて重要なものと考えられます。地域医療連携推進法人として組織実態を定め、医療・介護にかかわる現場から大量に派生する情報を組織化することを通じて、私たちの働き方改革を大胆に推し進めていかなければなりません。この一連の作業を展開することにより、Digital Transformationの開示が現実的なものとなつてきます。

社会医療法人 北斗 理事長

鎌田 一

Kamada Hajime

Profile

札幌医科大学卒業。中村記念病院勤務を経て群馬大学第一病理学教室へ国内留学。日本脳神経外科学会 専門医取得後、米カリフォルニア大学サンフランシスコ分校(UCSF)へ留学。1993年 北斗病院を開設、現在に至る

社会医療法人 北斗

【世界初】尿検査によるがんリスクを早期発見する検査開始

北斗病院はCraif株式会社（東京都文京区、CEO・小野瀬隆一、以下Craif）が提供する尿中マイクロRNAからがんリスクを早期発見するがんスクリーニング検査『miSignal』（マイシグナル）において、発見の最も難しいすい臓がんを含む6種類（食道がん、胃がん、大腸が

ん、すい臓がん、乳がん、肺がん）のがん種を対象とした新規がんリスクスクリーニング検査を開始しました。

わたし達は慶應義塾大学腫瘍センターゲノム医療ユニットと連携し世界初のがん遺伝子検査を行っており、その高い解析技術を活かして、2020年6月、国立研究開発法人日本医療研究

開発機構（AMED）における「先進的医療機器・システム等開発プロジェクト」にCraifと共に採択され、尿検査による超高精度早期がんリスクスクリーニング検査の開発を進めてきました。

当院は単なる検査の窓口ではなく、本検査を共に研究開発する国内代表施設であることから、世界に先駆け検査を開始することになりました。

『miSignal』は尿中にごく微量に含まれるマイクロRNAという短い核酸の断片を集めてがんリスクを判定します。

がん組織は他の正常な細胞とは異なる様々な物質を体内で放出し増殖します。その物質の一部は尿中へ排出され、放出された物質のうちマイクロRNAという核酸を捕捉して解析します。がん患者の尿中マイクロRNAは早期から特異的な発現パターンを示すことが分かっており、ステージ1など早期がんリスクを検出することができます。

本検査は高精度であるだけでなく尿を用いた検査であるため患者さんの負担が全くない体に優しい検査です。わたし達は早期からがんを治療することで、人々ががんを命を落とすことのない世界を目指します。

■検査料金(税込)

男性／5種類 77,000円
（食道、胃、大腸、膵臓、肺）
女性／6種類 82,500円
（食道、胃、大腸、膵臓、肺、乳）

■ご予約・お問い合わせ

北斗病院検診センター
☎0155・47・7777

（予約受付時間 平日9時～17時）
または☎0155・48・8000代まで

社会医療法人北斗 公式SNS各種、随時更新しております！
今回は新しい  YouTube 動画を2本ご紹介いたします。ぜひご覧ください！

NEW 後悔しないがん治療の選択
がん治療認定医の成定医師がアドバイス！



NEW 【世界初】尿検査で調べるがんリスク検診 マイシグナル
次世代がん検査について当院の腫瘍医学研究所の加藤医師が解説



 SNS 新着情報

肝腎カナメ!の 腎臓話

シンジウバチン
医者が教える腎臓の教科書

腎臓内科外来

石田 亜希 先生

北斗病院にて診察中!
毎月第2第4の金曜



vol.3

「慢性腎臓病」について

「肝腎(肝心)」という言葉を知りたり使ったりしませんか?意味は「最も重要なこと」。肝臓も腎臓も人体に欠くことのできない重要な器官であることからきています。そんな大事な腎臓への疑問を、腎臓内科外来の石田 亜希先生に聞いてみました!

A 慢性腎臓病は、免疫機能が低下しているため、感染症による死亡や合併症が多くなります。したがって、感染危険性の高い病原体に対するワクチン接種が推奨されています。冬季はインフルエンザワクチンの接種による予防が重要ですが、高齢者ではインフルエンザにかかった後に肺炎によって死亡する可能性が高いことが知られています。そのため、肺炎の中

A 慢性腎臓病は、免疫機能が低下しているため、感染症による死亡や合併症が多くなります。



Q 慢性腎臓病と言われました。予防接種は受けた方がよいのでしょうか?



A 慢性腎臓病患者は、クスリの排泄が低下して血液中にたまりやすく、一般的に健康に良いという食品が常に有益であ



Q 慢性腎臓病です。友達から腎臓に良いというサプリメントをもらいました。飲んでよいのでしょうか?

ります。また新型コロナウイルスに対するワクチンにおいても、慢性腎臓病は接種優先順位が高い基礎疾患の一つであり、こちらも接種が推奨されています。なお、これらワクチンはいくまでも感染対策のひとつに過ぎませんので、ワクチン接種後もマスク、手洗いなどの基本的な感染対策を続ける必要があります。

A 慢性腎臓病患者さんに対する運動療



Q 慢性腎臓病患者ですが、運動はしたほうがよいのでしょうか?



るとは限りません。比較的安全と考えられるビタミン、ミネラルでも血中濃度が上昇し、結果として有害なことがあります。ビタミン剤などのサプリメントに関しては、適切な血中濃度の維持が必要であることや、いまだ健康食品に関しての効果

法に関しては、いまだ十分なデータがないのが現状です。しかし、最近ではeGFRの改善や総死亡率の低下を示す報告も次第に増えてきており、定期的な運動習慣を持つことは腎臓病の予後に良い影響を及ぼす可能性が高いと考えられるようになってきました。もちろん運動療法は身体活動度のアップ、認知症の予防、生活の質の改善など様々なメリットを有しており、適度な運動を習慣づけることが勧められます。

についてのデータ(エビデンス)が少ないため、少なくとも腎臓専門医、管理栄養士などの許可を得て、服用することが安全です。





会場&配信

市民公開講座

社会医療法人 恵和会 帯広中央病院 × 社会医療法人 北斗 北斗病院

～ 進む十勝のがん治療 ～

1940年代に始まったがんの薬物治療から約80年、今や個々の分子レベルで診断が行われ最適ながん治療を提案できる時代となりました。ここ十勝でも時代に即したがん治療を積極的に取り入れ、展開しています。今回はそれぞれの強みを活かした病院連携によって患者さまに最適な医療の提供を目指す、帯広中央病院と北斗病院のがん治療をご紹介します。



講演1 最近の肺癌の診断と治療 (仮)

帯広中央病院 病院管理者 菅原 好孝 先生
呼吸器内科医師

講演2 がんの集学的治療とは

北斗病院 放射線治療科医師 成定 宏之 先生
セカンドオピニオン外来

2023年
2月 **12** SUN 日

とがちプラザ 1階 大集会室

帯広市西4条南13丁目1
開場 13:30 開演 14:00 参加 **無料・要予約**

会場聴講
お申し込み先
締め切り
2月8日(水)

●お名前・電話番号・医療機関名(医療従事者のみ)をお電話またはFAXにてお知らせください。
■帯広中央病院 地域連携室
☎0155-67-5638
■北斗病院 コールセンター
☎0155-48-8000(代)
※各施設受付時間9～17時

配信視聴
お申し込み先
締め切り
2月11日(土)



Zoom(ウェビナー)で配信します。2次元コードまたはURLからお申し込みください。視聴のみとなります。

●URL <https://tinyurl.com/2hhh2zkr>
●サポートデスク専用ダイヤル ☎050-7300-8635

2023年1月15日発行
発行:社会医療法人 北斗
発行人:鎌田

責任者:久保田
編集長:伊藤
亨

〒080-0833 帯広市稲田町基線7番地5
☎0155-48-8000 FAX0155-49-2121



- 関連施設
- 北斗病院 (帯広市) 認知症対応型共同生活介護グループホーム あおぞら (帯広市)
 - 北斗クリニック (帯広市) 上士幌クリニック/介護老人保健施設かみしほろ (上士幌町)
 - 十勝リハビリテーションセンター (帯広市) 新得クリニック (新得町)
 - サービス付き高齢者向け住宅 あやとり (帯広市) 熊谷総合病院 (埼玉県熊谷市)
 - 十勝自立支援センター介護老人保健施設 かけはし (帯広市) HOKUTO画像診断センター (ロシア・ウラジオストク)
 - ほくと自立支援ホーム/カンタキあおぞら (帯広市) HOKUTOリハビリテーションセンター (ロシア・ウラジオストク)